



株主の皆様へ

第153期 中間報告書

2020年4月1日から9月30日まで



繋ぐ技術を、世界へ

2020年2月5日

おかげさまでエンシュウは
創立100周年を迎えました

エンシュウ株式会社

証券コード 6218

Enshu

CORPORATE PHILOSOPHY

経営理念

売ってよろこび、
買ってよろこび、
作ってよろこび、
一生懸命につとめ
共生共栄を旨とする

CONTENTS

目次

株主の皆様へ	2
事業の概況	3
トピックス	5
中間連結財務諸表	7
株式の状況	9
会社の概況	10



本社及び高塚工場



浜北工場

TOP MESSAGE

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当中間連結期間において、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、工作機械関連事業におきましては、国内、海外ともに工作機械の設備投資を控える動きが継続するなど厳しい状況となりました。輸送機器関連事業におきましても、客先の減産・稼働調整に伴い工場の稼働を一時停止するなどの対応を行いました。下期に向け仕事量は着実に回復してきております。

このような情勢の中、当社グループは従業員の安全に配慮するとともに、仕事量減少に関してはコスト低減等の対応を行い、また国内の移動制限解除後は、仕事量の確保に向けた拡販活動に取り組んでまいりました。

以上の結果、当中間連結期間の売上高は、工作機械関連事業、輸送機器関連事業ともに減少し9,199百万円(前年同期比33.2%減)となりました。損益につきましては減収の影響により、営業損失は105百万円(前年同期は営業利益1,481百万円)、経常損失は92百万円(前年同期は経常利益1,259百万円)となりました。親会社株主に帰属する中間純損失は222百万円(前年同期は親会社株主に帰属する中間純利益1,089百万円)となりました。今後も新型コロナウイルス感染症の影響は続くと考えておりますが、いち早く生産活動が再開された中国や国内等での拡販活動を積極的に行い仕事量の確保に努めてまいります。

当期の期末配当金につきましては、現時点では前期同額の1株当たり10円(中間配当金0)を予定しております。今後につきましては、引き続き財務体質の強化を図るとともに、安定的な配当を継続していくことを経営の重要課題と認識して取り組んでまいります。

全社一丸となってこの難局を乗り越え、更なる発展に繋げて行けるよう取り組んでまいりますので、株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 社長執行役員

山下晴央

2020年12月

2020年4月1日から2020年9月30日に至る当社グループ
第153期中間連結期間の事業の概況をご報告申し上げます。

工作機械関連事業部門

日本工作機械工業会は9月30日、2020年の工作機械の受注見通しを年初公表の1兆2,000億円から8,500億円に下方修正しました。1兆円を下回るのはリーマンショックの影響が残る2010年以来10年ぶり。新型コロナウイルスの感染拡大や米中関係悪化の影響に加え、自動車業界を中心に顧客の投資優先度が変化している点を折り込みました。

当社におきましてもお客様の設備投資計画の中止や延期などにより、上期売上高は5,803百万円(前年同期比33.3%減)、営業利益は257百万円(前年同期比81.5%減)となりました。また、当社は自動車関連のシステムに特化しており、業界より遅れて回復が見込まれることから、上期末の受注残高は8,442百万円となりました。

このような状況の中、営業統括本部は7月から「市場拡大プロジェクト」を展開しており、マシニングセンタ内蔵型搬送装置E-Loaderの営業強化、納入後10年経過した機械の無料点検実施、新規購入機械へのIoTパッケージソフトの無料付属や1年後の無料点検、本社ショールームを利用したミニ展示会実施などの「この時期だからこそ！」できる提案を武器に、市場・顧客の開拓と拡大に向けて取り組んでおります。また技術、製造統括本部もこの営業活動を全面的にサポートし、事業部一丸となって次期の売上、仕事量の回復に努めてまいります。



▲本社ショールーム E-Loaderモデル機(右側)



▲WE30V 5軸機

輸送機器関連事業部門

新型コロナウイルス感染症の影響により、上期は国内外で大幅な減産となりました。上期前半では大型二輪車用部品を中心に大幅に落ち込みましたが、上期後半にかけては徐々に回復傾向となっております。

損益面におきましては、売上確保のために四輪部品の新規部品を取り込み、臨時休業や経費削減等に対応いたしましたが、生産量の大幅な落ち込みをカバーしきれず減収減益となりました。

以上の結果、輸送機器関連事業部門の上期売上高は3,360百万円(前年同期比33.4%減)、営業損失は388百万円(前年同期は営業利益64百万円)となりました。

このような状況の中、IoT技術を駆使した新規デフケースラインが順調に立ち上がり、生産性向上活動を通じて利益確保に努めております。



▲新規デフケースE-Loader 自動ライン



▲デフケース搬送全自動ライン (IoT稼働監視システム)

工作機械関連事業部門

■ 市場拡大プロジェクト始動

新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、国内、海外とも主要な展示会が中止となっている状況の中、当社では「市場拡大プロジェクト」を立ち上げ、新たな商社、ユーザーの開拓を積極的に行っております。

また、従来から当社の設備を販売している商社、購入いただいているユーザーへ積極的に訪問し、設備点検サービスを展開しているほか、ショールームを使った説明会等も計画しております。今後も引き続き「お客様満足度の向上」に努めてまいります。



▲キャンペーンの案内状

■ JIMTOF2020 Online に出展

2020年11月16日から27日の12日間、「JIMTOF2020 Online」に出展いたしました。これは、国内最大の展示会である「日本国際工作機械見本市(JIMTOF)」のオンライン版として開催されたもので、最先端の工作機械やその関連機器・技術が世界中から集結し、高度な情報交換の場となりました。



▲JIMTOF2020 Online

当社では、E-Loader、WE30V 5軸機、GE50Hの展覧及びシステム商品の事例紹介(レーザー加工機、輸送機器事業部 新規ライン)を行いました。近年、SNSやウェブを利用した広告、宣伝、プロモーションが急速に進んでいる中、当社としましても、これらを積極的に活用することで、お客様との情報交換の場を増やし、ご要望にお応えできるソリューションの提案に努めてまいります。

輸送機器関連事業部門

上期前半での大幅な仕事量の減少があり、上期は生産量の増減に柔軟に対応した生産に取り組んでまいりました。現在では順調に生産量が回復しております。

国内におきましては、営業・技術面で工作機械関連事業部門と協力して農機具関係の部品を新たなお客様から受注し、シリンダーブロックラインの仕上げ工程に自社製ホーニングマシンを導入したラインを順調に立ち上げ、生産を開始いたしました。

ベトナム工場におきましては、日本からの部品移管やベトナム国内以外の海外拠点の仕事を継続的に取り込むグローバルな生産体制をとっております。



▲農機具・新規シリンダーブロックライン

SDGs 社会貢献活動



“天浜線 人と時代をつなぐ「花のリレー・プロジェクト」”に参画いたしました。

このプロジェクトは、当社浜北工場北側を通る天竜浜名湖鉄道の沿線に花や樹木を植え、育てることで、心豊かな笑顔あふれる地域づくりを目指す取り組みです。

当社では、岩水寺駅～宮口駅のアダプトメンバーとして、草取り・清掃・美化活動を実施しております。この区間の植栽地では、桜「ヒナハチジョウ」と「菜の花」を植えており、引き続き成長を見守ってまいります。

今後も地域に根ざした社会貢献活動を通し、地域活性化に貢献してまいります。

INTERIM CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS

中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表（要旨）（2020年9月30日現在）

（単位 百万円 百万円未満は切捨て）

項 目	金 額	項 目	金 額
●資産の部●		●負債の部●	
流 動 資 産	18,416	流 動 負 債	11,328
現金及び預金	4,428	支払手形及び買掛金	1,249
受取手形及び売掛金	3,475	電子記録債務	1,122
電子記録債権	1,455	短期借入金	5,380
商品及び製品	2,505	未払法人税等	53
仕 掛 品	4,826	賞与引当金	453
原材料及び貯蔵品	1,524	資産除去債務	61
そ の 他	261	そ の 他	3,006
貸倒引当金	△60	固 定 負 債	11,883
固 定 資 産	14,307	長期借入金	6,500
有形固定資産	13,857	役員退職慰労引当金	15
建物及び構築物	2,653	退職給付に係る負債	3,416
機械装置及び運搬具	2,969	資産除去債務	43
土 地	7,392	そ の 他	1,908
そ の 他	842	負 債 合 計	23,212
無形固定資産	145	●純資産の部●	
そ の 他	145	株 主 資 本	6,642
投資その他の資産	304	資 本 金	4,640
そ の 他	307	利 益 剰 余 金	2,071
貸倒引当金	△2	自 己 株 式	△69
資 産 合 計	32,723	その他の包括利益累計額	2,868
		その他有価証券評価差額金	0
		土地再評価差額金	3,666
		為替換算調整勘定	194
		退職金給付に係る調整累計額	△992
		純 資 産 合 計	9,511
		負 債 純 資 産 合 計	32,723

中間連結損益計算書(要旨) 自2020年4月1日 至2020年9月30日

(単位 百万円 百万円未満は切捨て)

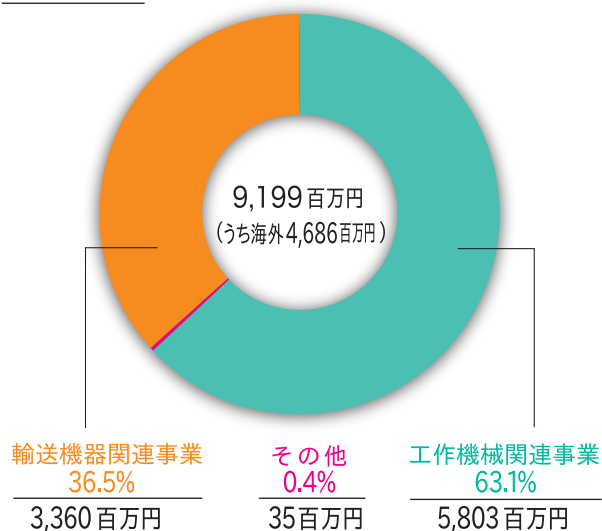
項 目	金 額
売 上 高	9,199
売 上 原 価	8,101
売 上 総 利 益	1,097
販 売 及 び 一 般 管 理 費	1,203
営 業 損 失(Δ)	Δ105
営 業 外 収 益	139
営 業 外 費 用	126
経 常 損 失(Δ)	Δ92
特 別 利 益	2
特 別 損 失	10
税金等調整前中間純損失(Δ)	Δ101
法人税、住民税及び事業税	73
法人税等調整額	48
親会社株主に帰属する中間純損失(Δ)	Δ222

中間連結キャッシュ・フロー計算書(要旨) 自2020年4月1日 至2020年9月30日

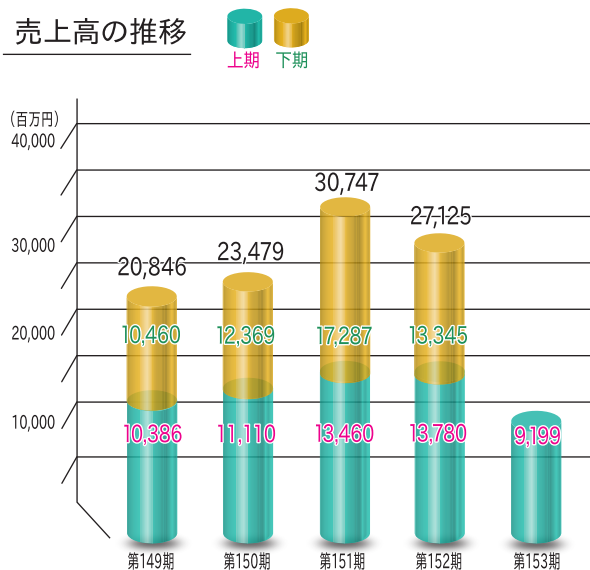
(単位 百万円 百万円未満は切捨て)

項 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	Δ582
投資活動によるキャッシュ・フロー	Δ683
財務活動によるキャッシュ・フロー	Δ88
現金及び現金同等物に係る換算差額	Δ53
現金及び現金同等物の増減額(Δは減少)	Δ1,408
現金及び現金同等物の期首残高	5,761
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,353

売上高



売上高の推移



STOCK REPORT

株式の状況 (2020年9月30日現在)

株主・株式総数

株主総数	5,078名
発行可能株式総数	15,000,000株
1単元の株式数	100株
発行済株式総数	6,353,454株 (自己株式 47,499株含む)

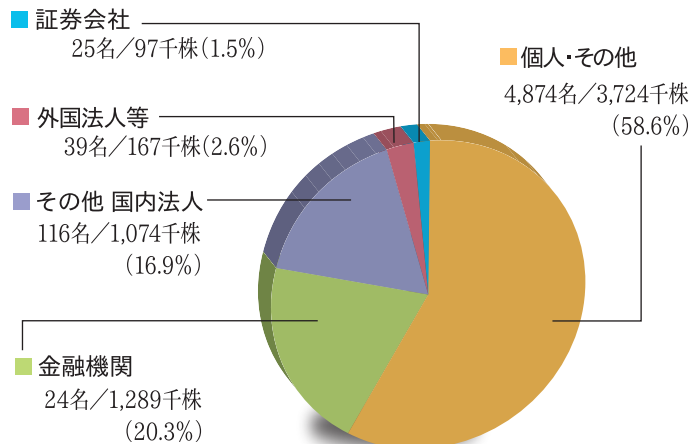
大株主

エンシュウ取引先持株会	712,790株 (11.30%)
ヤマハ発動機株式会社	645,739株 (10.24%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	265,900株 (4.21%)
浜松ホトニクス株式会社	200,000株 (3.17%)
前尾和男	186,700株 (2.96%)
株式会社みずほ銀行	157,267株 (2.49%)
みずほ信託銀行株式会社	145,500株 (2.30%)
株式会社りそな銀行	141,425株 (2.24%)
前尾吉信	120,900株 (1.91%)
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	109,200株 (1.73%)

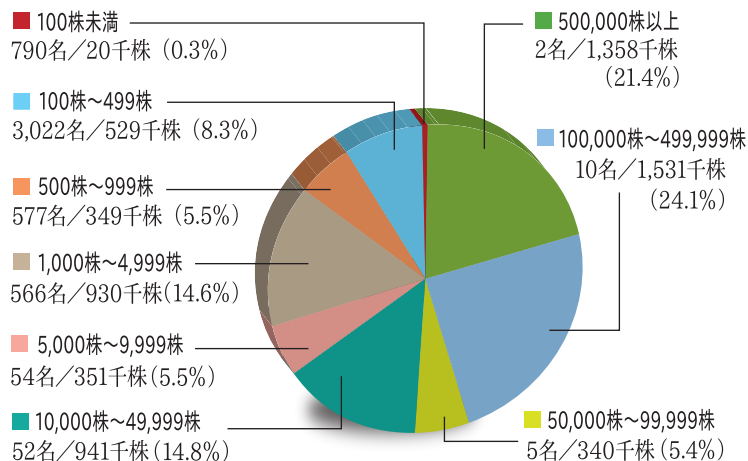
(注) 比率は発行済株式総数から自己株式を控除して計算しております。

株主の構成

所有者別株式分布状況 合計: 5,078名 / 6,353千株



所有株数別分布状況 合計: 5,078名 / 6,353千株



(注) 株数は千株未満を切り捨てて表示しております。

COMPANY PROFILE

会社の概況

(2020年9月30日現在)



商号	エンシュウ株式会社(英文 ENSHU Limited)
設立	1920年2月5日
資本金	46億4,085万円
従業員数	1,032名(連結)
生産品目	工作機械、輸送機器関連部品 レーザー加工機

事業所

本社及び工場 〒432-8522 静岡県浜松市南区高塚町4888 電話 053-447-2111(代)

浜北工場 〒434-0016 静岡県浜松市浜北区根堅788 電話 053-588-0211(代)

営業部・支店

営業部 〒434-0016 静岡県浜松市浜北区根堅788 電話 053-588-4771(代)

東京支店 〒140-0011 東京都品川区東大井4-13-15 (スターハイツ)
電話 03-5479-1671(代)

大阪支店 〒564-0063 大阪府吹田市江坂町1-23-43 (ファサード江坂ビル)
電話 06-6338-2471(代)

サービスステーション / 東北・金沢・広島・九州

海外拠点

ENSHU (USA) CORPORATION (アメリカ・シカゴ近郊)

ENSHU USA CORPORATION MEXICO R.O.W.I (メキシコ・ケレタロ)

ENSHU GmbH (ドイツ・フランクフルト近郊)

ENSHU (Thailand) Limited (タイ・バンコク近郊)

BANGKOK ENSHU MACHINERY Co.,Ltd. (タイ・バンコク近郊)

PT. ENSHU INDONESIA (インドネシア・ジャカルタ近郊)

ENSHU (QINGDAO) LIMITED (中国・青島)

ENSHU (QINGDAO) MACHINERY CO.,LTD. (中国・青島)

ENSHU(QINGDAO) Limited Suzhou branch office (中国・蘇州)

ENSHU INDIA PVT Ltd. (インド・グurgaon)

ENSHU VIETNAM Co.,Ltd. (ベトナム・ハノイ近郊)

取締役体制

(2020年10月1日現在)

代表取締役社長	山下晴央
代表取締役	勝倉宏和
社外取締役	墨岡良一
取締役 (常勤監査等委員)	中村泰之
社外取締役 (監査等委員)	石塚尚
社外取締役 (監査等委員)	森和彦

執行役員体制

(2020年10月1日現在)

社長執行役員	山下晴央
副社長執行役員 (兼 管理本部長)	勝倉宏和
常務執行役員 (工作機械・レーザー事業部長)	鈴木敦士
上席執行役員 (工作機械・レーザー事業部 副事業部長 兼 変動費CDプロジェクト責任者)	富田敏弘
上席執行役員 (工作機械・レーザー事業部 技術統括本部長 兼 営業技術部長)	鈴木利夫
上席執行役員 (輸送機器事業部長 兼 TVP推進室長)	松永浩一
執行役員 (新規事業・IoT推進室長)	内山浩一
執行役員 (工作機械・レーザー事業部 営業統括本部長 兼 営業部長)	加藤猛

株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
剰余金の配当の基準日	
(期末配当)	3月31日
(中間配当)	9月30日
定時株主総会	毎年6月下旬
	なお、定時株主総会において権利を行使することができる株主は、毎年3月31日最終の株主名簿に記載された議決権を有する株主となります。
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲1丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
事務取扱場所	みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
公告方法	電子公告 (https://www.enshu.co.jp/koukoku/) ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。
株式の上場	東京証券取引所市場第一部

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00～17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更・株主配当金 受取り方法の変更等)	お取引の証券会社等になります。	みずほ証券 本店および全国各支店 プラネットアース(みずほ銀行内の店舗) でもお取扱いいたします。 みずほ信託銀行 本店および全国各支店
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行およびみずほ銀行の本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続きを行っていただく必要があります。

単元未満株式(1～99株)を 保有されている株主の皆様へ

単元未満株式は
市場における自由な売買ができません。

単元未満株式(1株から99株)を保有されている株主の皆様からの、単元未満株式の買取請求をお受けしております。手数料はかかりません。

当社株主名簿管理人・特別口座管理機関
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
にお問合せください。
0120-288-324(フリーダイヤル)

【ご注意】

証券会社等の一般口座で保有する単元未満株式については、お取引の証券会社等を通じてお手続きをしていただくようになりますので、株主様のお取引の証券会社等にお問合せください。



ホームページのご案内

当社はインターネット上で最新の情報を皆様へ提供しております。

ホームページアドレス <https://www.enshu.co.jp>